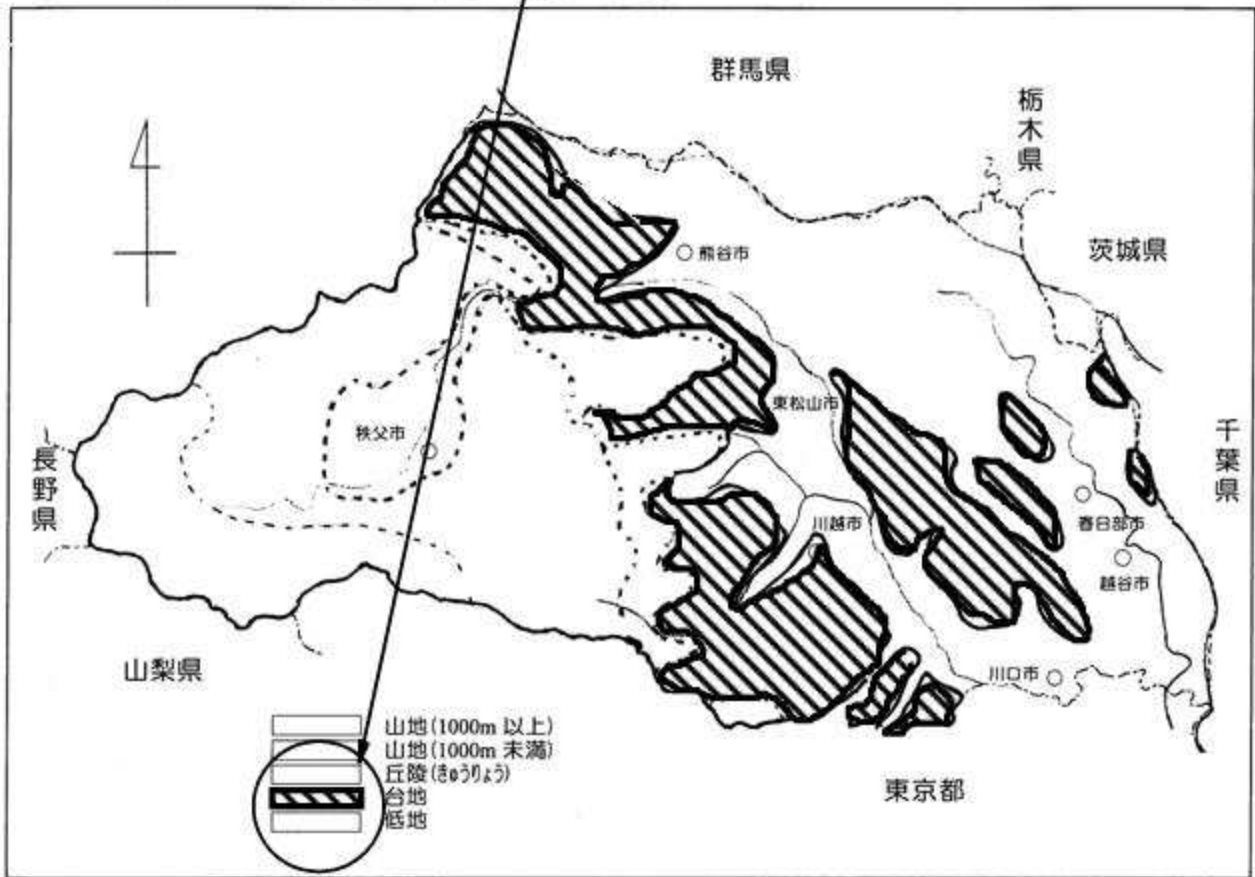




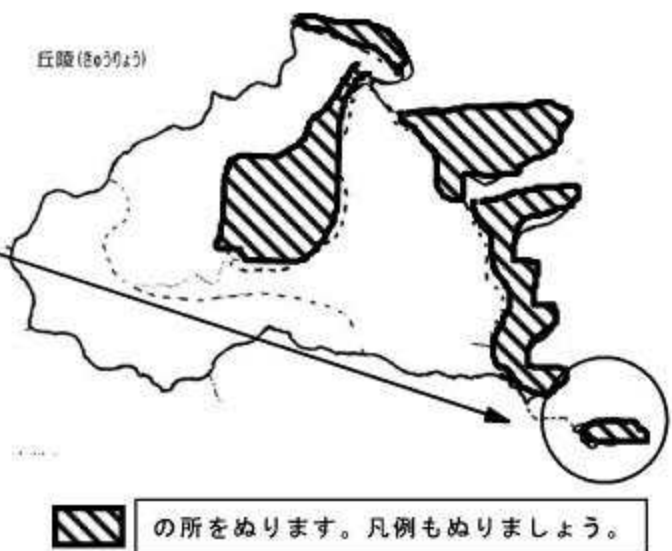
## ②台地に色をぬる。

- 台地の部分（斜線）に色をぬります。島のようにはなれている台地が東の方に7か所あります。忘れずにぬりましょう。凡例もぬります。
- 色えんぴつはやまぶき色か黄色を使います。



## ③丘陵をつくる。

- 部品の地図を貼った台紙から、丘陵の部分（実線）を切り取ります。
- カッターでだいたいの形に切ります。そのあと、細かいところをていねいに切り取ります。狭山丘陵は、ちょっと離れているので、切るのを忘れないようにしましょう。
- 切り終わったら、点線の外側をマジック（だいだい色）でぬります。秩父盆地のところも忘れずにぬりましょう。凡例もぬります。
- ぬり終わったら、台（緑の紙が貼ってあるもの）の上に貼ります。
- 消えてしまった川を青でぬります。




④山地(1000m未満)をつくる。

- 部品の地図を貼った台紙から、山地(1000m未満)の部分(実線)を切り取ります。
- カッターでだいたいの形に切ります。その後、細かいところをていねいに切り取ります。
- 切り終わったら、点線の外側をマジック(ちゃ色)でぬります。
- ぬり終わったら、丘陵の上に重ねて貼ります。
- 山地(1000m未満)は、埼玉県みまの西側に広がっています。
- 消えてしまった川を青でぬります。

山地(1000mみま未満)

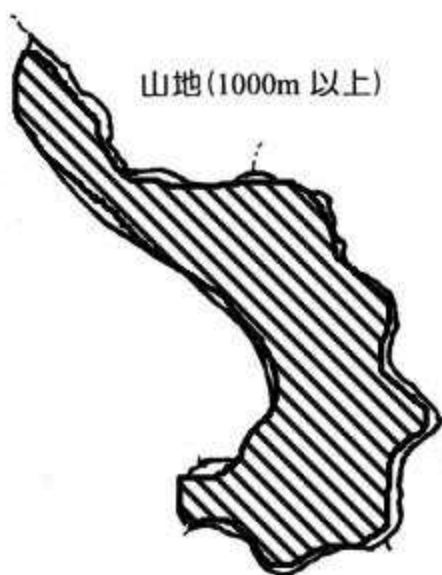



 の所をぬります。凡例もぬりましょう。

⑤山地(1000m以上)をつくる。

- 部品の地図を貼った台紙から、山地(1000m以上)の部分(実線)を切り取ります。
- カッターでだいたいの形に切ります。その後、細かいところをていねいに切り取ります。
- 切り終わったら、全体をマジック(こげ茶色)でぬります。
- ぬり終わったら、山地(1000m未満)の上に重ねて貼ります。
- 長野県ながのけんと山梨県やまなしけんとの境さかいは高い山(1000m以上)になっています。

山地(1000m以上)



 の所をぬります。凡例もぬりましょう。

※ この立体地図に、自分で調べたことを加えるとオリジナル地図になります。

- 例 ・ 鉄道の路線をかきこむ
- ・ 主な農産物をかきこむ
- ・ 観光名所をかきこむ または 写真を周りに貼る
- ・ 地形の様子を表した写真を周りに貼る

